

道徳科学習指導案

- 1 学級 第5学年1組 男子10名 女子20名 計30名
- 2 主題名 「自分の生きる力を信じて」 D 生命の尊さ
- 3 ねらい 「生きる力」と「生きようとする力」のちがいを考えることを通して、自分の生命が、多くの人とつながりがあるかけがえのないものだということを理解し、精一杯生きようとする道徳的判断力を育てる。
- 4 教材名 「生きる力を引き出す笑い」
- 5 主題設定の理由

○主題観

生命を大切に尊重することは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れといえる。私たちの命は、さまざまな人たちによって支えられている。家族や友だち、地域の人たちなどの他にも、医者や看護師なども私たちの命を支えてくれている。笑いで患者の自己治癒力を高めようとする「笑い療法士」の生き方も命を大切にしようとする精神に基づいている。そして、私たちは命を「支えられている」だけでなく、一人一人が「生きようとする力」をもっている。自分の中にある「生きようとする力」を安心・安全な温かい笑いによって引き出し、自分の命をより輝かせていこうとする気持ちをもたせたい。それらを通して、自他の生命を尊重する心を内側の視点から育てていく本主題を取り上げる。

○児童観

本学級の児童は、「命は大切である」「一つしかない命を大切にしたい」と全員が思っている。身近な人の死を経験している児童はより強く、「死んだらもうもとはもどらない」と思っている。また7月の西日本豪雨災害では、被災した児童や、祖父母や親せきが自分の家に避難している児童もいる。災害を目の当たりにし「死は身近にある」「命は大事」と強く感じている児童も多くいる。しかしその反面、「死んだ」「死ねば」などの言葉を日常会話として軽く使っている実態もある。本心で言っているわけではなく、ゲームの延長のような言い方である。

本時で生命の尊さ、よりよく生きること、笑うことと生きることの関係性を考える学習を行うに当たり、事前のアンケートを行った。

【アンケート項目】

○「生きる」ことについて	
①	どんな時に生きていますか。
②	「自分に命を大切に生きる」ということは、どういうことだと思いますか。
○「笑う」ことについて	
③	笑うことと生きることとは関係していると思いますか。

【アンケートの結果】

○「生きる」ことについて

① どんな時に生きていると思いますか。

- ・気持ちが動いたとき（心で感じる）
嬉しいとき 楽しいとき 感動したとき 悲しいとき など
- ・行動したとき
いろいろなことにチャレンジしているとき 家族と過ごしているとき
友だちと遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき など
- ・特別なことがあったとき
赤ちゃんが生まれた 賞をとった 優勝した など
- ・身体的なこと
歩く 走る 手足が動く など
- ・他人の死を見たり感じたりしたとき
災害などでたくさんの命が失われたニュースを見たり聞いたりして、自分は生きているんだと実感した。

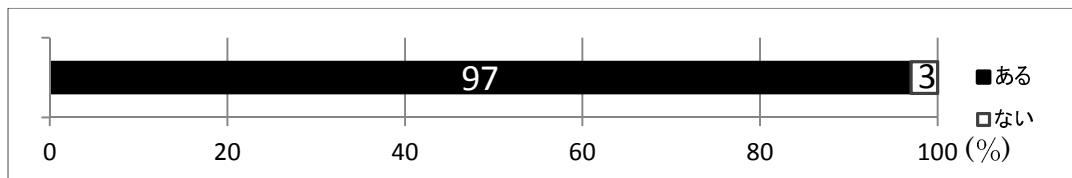
② 「自分の命を大切に生きる」ということは、どういうことだと思いますか。

- ・健康，安全面に関すること
いつも元気いっぱいであること。健康であること。
病気にかからないように日頃から生活習慣をきちんとする。
けがなどをしない。
自分から危険なことをしない。
- ・生活面の充実に関すること
しんどい時や困っている時は助け合う。
楽しい時やおもしろい時はおもいきり笑う。
楽しくても悲しくても、人生楽しみながら生きていくということ。
- ・自他の命に関すること
自分の命を自分で守ること。
自分に命を自分で傷つけない。奪わない。
自殺をしない。
自分が生きていることに意味があると思いながら自信を持って生きていくこと。

○「笑う」ことについて

③ 笑うことと生きることは関係していると思いますか。

ある97% ない3%



- ・生きているから笑える。表現できる。生きていると感じることができる。
- ・笑うとうれしい，楽しい。
- ・何かを感じることができるということは生きているということ。
- ・笑うと気持ちが明るくなって不安も少しずつなくなっていく。
- ・笑うと自分もまわりも明るくなる。いろいろな人とはげましあう感じで生きている。

○指導観

児童は、自分の命は周囲に支えられたかけがえのないものであることは理解している。「支えられているかけがえのない命」という命に対する理解に加えて、自分の中の「生きようとする力」に気付き、さらに「生きようとする力を高めるにはどうしたらいいか」について考えを深められるようにしたい。内側の視点から、自分たちの中にある「生きようとする力」を互いに引き出し合い、輝かせることができることに気付かせていく。

そのために『『生きる』ことについて考えよう』という課題を設定し、「生きる力」や「生きようとする力」と笑いとの関連性などについて考えさせる。早い段階で教材文からはなれ、自分たちの生活や体験などから考えさせていく。必要に応じて対話活動を有効に行っていきたい。ユニットノートを活用し、友達の考えと自分の考えを比べたり、重ね合わせたりして考えさせることで、自分のこれから歩いていく未来へとつながるヒントを見つけさせていく。

本教材に含まれていると考える道徳的価値は、次のとおりである。

【この教材に含まれる道徳的価値】

- ◆ 生きているかぎりだれにでも「生きようとする力」がある。
- ◆ 人とのつながりの中で「生きようとする力」を強くすることができる。
- ◆ 生きているからかけがえのないものに出会える。

道徳的判断力を育成する場面としては、中心発問「「生きようとする力」を高めるにはどう生きたらいいのだろうか。」を設定した。生きようとする力とは何かを考えることを通して、自分の中にも生きようとする力があることを実感させ、よりよく生きることについて考えを深めていく。また「笑う」ことと「生きる」ことを関連付けて考えさせることで、本教材に含まれる道徳的価値に気づかせ、よりよい生き方を考える道徳的判断力を高めたい。

また、本学級の児童は、9月から以下のようなユニットを組み、学習を進めている。いろいろな内容項目を組み合わせ、関連付けて考えることによりユニットテーマである「仲よく」に迫りたい。

【ユニットとの関連】 ユニットテーマ「仲よく」

	教材名	内容項目・主題名	ユニットとの関連
第1時	ガンジーのいかり	C 公正, 公平, 社会正義 「正義をつらぬいた人」	ガンジーの取った行動を通して、正義を貫き、公正、公平な社会を具現していくことの大切さを学ぶ。
第2時	ドッジボールを百倍楽しくする方法	B 友情, 信頼 「勝つよりもすてきなこと」	お互いのよさに気付き、それを認め、お互いが高まり合うことで、よりよい友達関係を築いていくことを学ぶ。
第3時	セルフジャッジ	C 規則の尊重 「セルフジャッジ」	セルフジャッジの理念と好き勝手を比較し、規則の存在意義について考える。

第4時 (本時)	生きる力を引き出す 笑い	D 生命の尊さ 「自分の生きる力を信じて」	自分の中の「生きようとする力」に気づき、自分の生きる力を生かし、生命を大切にし、周りの人と支え合い、高め合っていこうとする意欲を高める。
第5時	「スイミー作戦」 「ガンジー作戦」	C 公正, 公平, 社会正義 「いじめに負けないために」	学習を通して、いじめの芽に気づき、差別や偏見をもつ心について考える。

6 他の教育活動などとの関わり

小学校 第1学年及び第2学年 D 生命の尊さ
生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。

小学校 第3学年及び第4学年 D 生命の尊さ
生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。

小学校 第5学年及び第6学年 D 生命の尊さ
生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

道徳

- ・9月「星が光った」
- ・10月「自分の生きる力を信じて」
- ・1月「命をかけて命を守る一山岳救助隊」

理科

- ・5月「植物の発芽と成長」
- ・6月「メダカのたんじょう」
- ・6月「ヒトのたんじょう」
- ・9月「花から実へ」

体育（保健）

- ・12月「けがの防止」

中学校 D 生命の尊さ
生命の尊重について、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○基本発問 ◎中心発問 ●補助発問)		○指導上の留意点 ☆評価の観点
		T 1	T 2	
導入	1 「生きる」ということについて意識する。	○どんな時に「生きている」と感じますか。 ・楽しいとき。 ・友だちといるとき。 ・家族と過ごす時間。 ・チャレンジしているとき。 ・人の死を感じたとき。		○児童の価値観を明確にすることで問題意識をもって授業に取り組ませる。 ○一人でも感じられること、他の人がいないと感じられないこともあるということに気付かせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">課題 「生きる」 ことについて考えよう。</div>			
展開	2 「生きる力を引き出す笑い」を読んで、「生きようとする力」について考える。 (1) 笑うことで得られるものや笑いをもつ力について考える。	○みんなは「笑い」にはどんな力があるのと思いますか。 ・楽しくなる。 ・元気になる。 ・いやなことを忘れることができる。 ・思いっきり笑うとすっきりする。 ・自己治癒力を高めている。	●「療法士」「ホスピス」という仕事や施設があるんだね。 ●クラスのみんなと会うのが楽しみなったの	○児童にとってあまりなじみのない「療法士」「ホスピス」について簡単に説明する。 ○自分の体験を交えながら語らせる。 ○生きていたらいろいろな人と信頼関係を築いていけること、他者の喜びと共有す

	<p>(2) 「生きようとする力」とはどんな力か話し合う。</p> <p>(3) よりよく生きることはどういうことか考え話し合う。</p>	<p>○「生きる力」と「生きようとする力」は何がちがうのだろう。</p> <p>【ユニットノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも、みんな持っている元気のもと、生きることだけど、「生きようとする力」は、自分自身でやろうとする力。 ・自分の力で強く生きていこうという感じがする。 ・いやなことやつらいことを乗り越えようとする力も入っている。 ・人に元気をあげられような力。 <p>◎「生きようとする力」を高めるにはどうしたらいいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったり、チャレンジしたりして、一生懸命生きること。 ・前向きに生きる ・たくさん感動して豊かに生きること。 ・周りの人にも勇気を 	<p>は、どうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと一緒に笑うと楽しくなることを思い出した。 ・安心する笑いがクラスにあるから。 ・一緒に笑うとつながりを感じる。 	<p>ることができることを確認させる。</p> <p>○自分の中にも「生きようとする力」があることに気付かせ、その力は周りの多くの人にも影響を与えることを押さえる。</p> <p>○「生命」を意識させるために、課題に関連づけて考えさせる。</p>
--	---	--	--	---

		与えられるような 生き方をする。	●明日クラスのみ んなど会うのを 楽しみにしてい る美希は、「生き ようとする力」 が高まっている のかなと問い、 自分の生命と人 とのつながりを 意識させる。	
終末	3 自分の行動や心 情を支える道徳的 価値に気付き、本時 の振り返りを行う。	○今日の学習から考 えたことをまとめ よう。		○全体で共有した後、 ノートに考えを書き 足させることでさら に考えを深めさせ る。 ☆自分の生命とこれか らの自分の生き方が つながっている記述 が見られるか。

8 板書計画

